



「鵬際」鵬は翼の巾3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おおとり）が飛ぶ（＝はるかなかなたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一步一步目標に近付きたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬際」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。



八代経済開発同友会
(通巻第96号)

<http://www.ytnet.or.jp/ykd/>
E-mail:yatsushiro_kkd@yahoo.co.jp



チャンス到来！ みんなで汗を流そう、新八代創り

平成19年度 八代経済開発同友会

第44代 代表幹事 成尾敬三

干支の猪にあやかって会員企業どなたも今年こそ景気のいい年であればという期待感があるかと思えます。大企業の好景気はいざなぎ景気を超えたといわれており東京、名古屋などの大都市では一部地価の上昇も見られます。

一方、改革推進の中、地方や弱者の切捨てで、格差社会が進行しているとの声も聞かれます。これらを克服し内需の拡大をはかることが、今年の大きな目標ではないでしょうか。

また、少子高齢化の進行により労働者不足、社会福祉の弱体化が顕著になってきつつあり地方ほど深刻な問題となっております。

会員の皆様の中には困難な中で業績を伸ばしておられる企業もあろうかと思えます。このような経験の中に企業の成功の秘訣があるのかもしれませんがもちろん時代を読むということも大事

ですが、経営者の感性という物が大切な時もあります。今年度は100社を超える会員企業の経験も是非お聞きしたいものです。

さて、私たちの八代市のここ数年の変化は、今後のさまざまな問題を提起しております。5年後春には九州新幹線が全線開通します。交通の要所八代が、合併効果を生かし大きく発展するのか、それとも八代ブランドの打ち出しに問題を残し、福岡、熊本、鹿児島都市間競争の中に埋没してしまい、大きくなった八代圏を維持するのに苦勞する事になるのか、ということだろうと思えます。

八代市にとって昨年末よりいくつかの良いニュースが聞かれました。まず日奈久のJRA進出問題がいよいよ動き出した、ということ。また、八代港の整備に県としても認識が変わりつつ

あるということです。また本会が永年にわたり進めてまいりました八代―天草架橋も県の調査費がつき、特にルート早期実現に向いているようです。工業、商業、観光、あらゆる分野で良い影響が見えてきたと思います。改正まちづくり3法に、もとづいて動き出した中心市街地活性化協議会の活動、どれも同友会が永年にわたり推進にかかわってまいりました大きな課題です。ただ、ここで重要なのは国、県、そして私たちが生活し企業活動している八代の財政状況です。改革推進の中、国の財政破綻を食い止めるということで地方財政のおおきな裏づけがなくなろうとしています。

新八代市には多くの財政支出の課題があります。無駄を省きまた同時に定住人口を増やす。そのために企業誘致を図る、インフラの整備を図る。という困難な課題を同時に成し遂げなけれ

ばならないのです。

本会には、プロジェクトの専門家がおられますので大いにその力を発揮していただきたく、特別幹事の役を担っていただきました。また現実味のある提言を委員会の会員にはまとめていただきたいと思っています。

合併後の八代の財政はけっして豊かとは言えません。中心街の町づくりや、JRA進出が見えてきた日奈久の活性化も、地域住民の力なくしてできるものではなく、同友会でも委員会で大いに議論しながらお手伝いしてまいりたいと思います。

今、八代はチャンスが到来したと考えるべきでしょう。そこで本年は、『チャンス到来！みんなで汗を流そう、新八代創り』をスローガンと致しました。どうか会員皆様の絶大なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶致します。

各委員会委員長挨拶

総務広報委員会

委員長 吉 武 卓 哉



「外への改革はまず内なる改革から」をキーワードにして1年間委員会活動を実践していきたいと考えます。

4つの柱をあげ（総会の開催・鵬際発刊・HPの運営・節約）、常に会員と時代のニーズを収集しながら、会員の皆さんに情報提供をしてまいります。また幹事会に於いては会議の効率化と紙資源削減を目指す為、プロジェクターを利用してのペーパーレス会議を段階的に実施し、皆様に提案をし続けてま

います。当委員会は各総会、メルマガ配信また年間を通じて様々な事業に携わっております。会員の皆様のご理解を頂ける事務優先の予算執行にも取り組んでまいります。各委員会の皆様より貴重なご意見を頂きながら、また各委員会に新鮮な情報をフィードバック出来るよう取り組んでまいります。

1年間よろしくお願いいたします。

例会親睦委員会

委員長 小 笹 康 博



例会に出席するということは、会員にとって最も大切な権利の一つだと考えています。しかしながらその一方で、その権利を行使していない方がいらっしゃるのも事実です。今年度は、会の目的にある「経済活動を中心とした地域開発推進・地場企業振興」を念頭に置き、八代の経済人として興味を持つことができ、更には会員として何らかのメリットを感じる事が出来るような例会を開催していきたいと考えています。行政や各方面で活躍されている方をお迎えし、自らの事業や業務に結びつくヒントとなるような時流に乗ったテーマを提供していきます。それが、親睦の第一歩となり、会員拡大にも繋がっていくものだと考えております。

皆様に、同友会そのものを興味を持つ

て戴けるよう、1年間努力してまいりますので、宜しくお願い致します。

新八代地域開発委員会

委員長 鈴 木 和 徳



専門家の人達の意見を聞きながら、皆で話し合って進めて行く。

八代市のイメージづくりを研究する(八代といえばこんな街だ)。限られた財源の中で重点目標を絞り込む。高専などの協力は今年も必要になるのではないかと思う。様々な情報収集に努め、補助金についても研究していきます。委員、会員の皆様に協力を頂き、1年間事業運営を行ってまいりますので、何卒宜しくお願い致します。

観光交流委員会

委員長 吉 岡 洋



八代の観光は今、黎明を迎えつつあり、地域振興局、市商政観光課でも、ようやくその取り組みが、具体的に且つ、本格的になってきております。官民一体となった活動が今後絶対不可欠であり、委員会としては、官の施策と歩調を合わせて、やって行きます。

本年度に取り上げた活動内容は、多岐に渡り、実現には大変努力と時間的

にもかかる事が予想されます。また、今までの経験上、焦点を絞りきれない可能性がありますので、委員会の中で各項目ごとに希望する問題を選択して頂き、分担して行きたいと考えております。

今後1年間お世話になりますが、皆様の知恵をお借りしていきたく思っております。ご協力宜しくお願い致します。

日奈久活性化委員会

委員長 伊藤輝充



本年度委員会は、日奈久温泉開湯600年を間近に控え、地元の取り組みをバックアップする為に、委員会のテーマを足湯建設1本に絞り、早期実現に向かって全力疾走する事で決定しました。現在、行政の土地使用許可も降り、建設資金について募金活動に励んでおります。また、行政からの情報収集に努め、補助金についても研究していきます。当委員会だけでは何も出来ません。各委員会、会員の皆様に協力を頂き、1年間事業運営を行ってまいりますので、何卒宜しくお願い致します。

企画誘致委員会

委員長 松岡隆志



●第2回YATSUSHIRO CUPの継続開催

昨年度の反省を生かし、より良い大会運営
また、八代のPRに務

める。

参加高校にアンケートをとった結果、多くのお礼やお褒めは頂いたものの、大会以外で八代に宿泊したいなどの声は聞けず、残念な思いをしている。

(10年間は継続したい)

●伝統、八代^{こま}独楽の復活

「本町1丁目のおっちゃんの独楽」と言えば、現在の35歳～65歳の男性なら誰も思い出を語らずにはいられないでしょう。オーダーメイドで目の前で思い通りの独楽を作ってもらったはずです。この独楽の復活を「民芸品八代独楽」として、八代のPRなどに貢献したいと考えます。

【手法】

独楽の作成：秀岳館高校クラフト部
(?)

作成・販売企画：企画誘致委員会
販売元：よかところ宣伝隊

この事業を実施することで、八代の民芸品を高校生が作成していき、郷土愛豊かな青少年育成ができる。また、収益事業とし、よかところ宣伝隊の自立に貢献する。

スローガン

チャンス到来!

みんなで汗を流そう 新八代創り

総会

代表幹事 尾敬成

特別幹事

真木清司 (八代天草架橋担当)
上村憲助 (八代よかごと担当)
一川誠一 (合併関係スポーツ大会担当)

計監事一治
岡賢治
村上会

務理事一
岩橋恵一

任会計幹事男
磯部季

副代表幹事
方光治

副代表幹事
中之村重之

副代表幹事
尻敬野

幹事

伊井今小島竹鶴中西山湯
藤戸田島永田山嶋田野
昭高郎章人鴻稔朗弓彦美
俊義徳次郎日出興 英真邦明

総務員
廣報会

●吉武 〇宮崎 小川 島下 土東 森和
卓哲 浩一 惣幹 義徳 康邦
哉也 司博 郎二 浩和 弘彦 彰

例会委員

●小上 〇木白 末竹 塚豊 西福 真松 満山 湯
笹原 下石 松永 本 田 田 島 木 嶋 塩 田 野
博治 也浩 弘一郎 実實 敏司 平子 久美
康季 淳慎 眞和 清宏 正晃 明 (15名)

新八代地域開発委員

●鈴半 〇伊大 大柿 木坂 島鋤 中中西 平福 潤皆 守和
木田 藤野 湖原 田本 把野 村山 村田 鳥田 吉田 田田
德里 昭義 助也 次幸 人二 行高 朗昭 信敏 昭剛 行臣 彦
和由 俊久 正久 哲盛 興祥 正 英嘉 正和 義 憲数 正 (21名)

觀光委員

●吉松 〇飯井 伊木 小坂 白立 統椿 遠豊 西濱 古松 松宮 吉宮
岡永 田戸 藤多 島田 石石 山島 嶋川 永嶋 崎永 村
洋悟 哲隆 秋幸 章孝 敏治 廣み 好吉 弓治 典吾 治巳 悟彦
謙 義政 孝日 佳勝 修保 ひと 章政 眞孝 道眞 祐治 未 (22名)

日久委

●伊今 〇竹一 緒尾 鹿小 穴伊 田西 松宮 村山 吉
藤田 永川 方坂 島林 倉達 本 田見 永岡 田澤
輝徳 誠貞 大正 英 美勝 貴賢 邦英 (17名)

活性化委員

●松園 〇上神 小ノ 鶴中 中平 堀増 松吉
岡川 村園 林田 川野 山口 田中 住 (14名)

企画委員

志助 助助 郎憲 仁稔 也夫 子晃 子治 郎
隆忠 憲喜 清一 静進 穂礼 敏一

●は委員長
○は副委員長

各委員会活動方針

総務広報委員会

- ①定時総会、臨時総会の開催
- ②鵬際の発刊
- ③HPの運営・管理
- ④紙資源削減・会議の効率化

例会親睦委員会

- ①例会・総会の企画・運営
- ②親睦（経友会）の企画・運営
- ③会員拡大に関すること
- ④視察研修に関すること

新八代地域活性化委員会

- ①都市計画路線の研究
- ②中心市街地活性化
- ③八代駅前振興
- ④八代港振興
- ⑤八代城復元の研究

観光交流委員会

- ①広域観光ルートの研究
- ②中心部観光コース研究
- ③体験型観光の推進（晩白柚オーナー制度の後援・ハウス農家体験の推進）
- ④インバウンド（外国人旅行者）の研究
- ⑤観光情報の発信

日奈久活性化委員会

- ①足湯建設の早期実現
- ②八代・天草架橋建設促進民間協力期成会への協力（未定）

企画誘致委員会

- ①YATSUSHIRO CUP 高校生バドミントン大会の継続開催及び、レベルアップ
- ②伝統八代^{こま}独楽の復活